

尼崎小田高校生が演じる・尼崎小田高校生と語る！



在宅療養ワークショップ

～最期まで自分らしく在宅で地域で暮らすために～

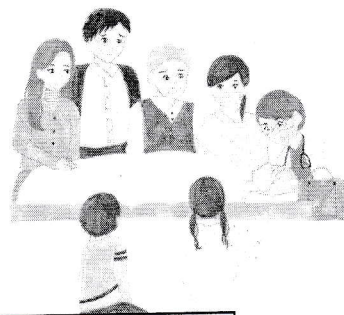
高齢者のうち、約6割の人が人生最期まで自宅で暮らし続けたいと考えています。「ホントに大丈夫かな？」と、漠然とした不安を抱えている方も多くいらっしゃると思います。そういう疑問に答えるために、本校の看護医療・健康類型「看護医療基礎」選択の21名が、尼崎市医療・介護連携協議会の支援を受け、在宅療養について1年間学んできました。その学んだ内容を地域住民の方に発表すると共に、「これから先の人生を楽しく見つめなおす」そんなワークショップを開催します。

病気になって高齢になっても、最期まで自分らしく家で暮らすために、在宅療養を多職種が支える体制や選択肢があるということを知っていただくとともに、人生最期をどのように迎えたいかを本校の「看護医療・健康類型」の生徒と一緒に学び、考えていただけませんか。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

令和5年3月4日(土) 9:30~11:45

◎場所 尼崎市立園田東生涯学習プラザ3階ホール

尼崎市食満5丁目8番46号(阪急園田駅から北西徒歩16分)



◎対象者 どなたでも♪(申し込み不要)

新型コロナウイルスにより中止となる場合は3月3日(金)午後5時までに本校のホームページに掲載いたします。

◎プログラム

- ① 受付開始 (9:00~)
- ② 開会行事 (9:30~9:40)
- ③ 劇・録画鑑賞「人生の最期は自宅で『自宅はいい』を支える在宅医療・介護の充実を」(9:40~10:10)
- ④ 休憩(10:10~10:20)
- ⑤ 「なんじゃもんじゃゲーム」(10:20~10:40) 記憶力を試みましょう。
- ⑥ 「もしバナゲーム」自分の最期について考える!(メインゲームです)(10:40~11:15)
- ⑦ 尼崎市医療・介護連携協議会からのまとめ、閉会行事 (11:15~ 11:25)

終了後に以下のテーマで「尼崎市 支え合いを育む人づくり支援事業」の「兵庫県立大学防災リーダー教育プログラム」からの報告があります。本校は、兵庫県立大学及び大学院減災復興政策研究科の先生や学生、院生の皆さんと尼崎で「防災・減災を通じた地域コミュニティづくり」に取り組んでいます。その関係でこの場所での報告を設定しました。お聞きください。

11:25~11:35 ファッションを通じた地域防災力向上への貢献

11:35~11:45 阪神・淡路大震災の教訓を小学生に伝える試み

主催 : 兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型(2年生)

共催 : 尼崎市総合政策局 園田地域振興センター 園田地域課

サポーター : 尼崎市医療・介護連携協議会(事務局: 尼崎市健康福祉局 福祉部 包括支援担当)

(連絡先) 兵庫県立尼崎小田高等学校 看護医療・健康類型長 福田秀志(尼崎市長洲中通2-17-46)

TEL: 06-6488-5335 FAX: 06-6488-5337